

▶ 省エネルギー・省資源活動

エネルギー、特に電気をできるだけ使わないことが、地球温暖化の原因であるCO₂の発生抑制につながります。店舗や事務所では、「エネルギーを大切に使うこと」を日常の中で実践しています。無駄な照明を使わない、できるだけエレベーターを使用しない、空調温度の適正設定など一人ひとりができることを積み重ねています。

しかしながら、そういった環境活動だけで大幅なCO₂削減を実現することは困難です。今後の課題は、環境活動に加えエネルギー使用量の大きな施設に省エネ効果のあるものを導入していくことだと考えています。

ユニーの省エネルギー活動

■ブラックイルミネーションの実施

環境省主導の「ブラックイルミネーション2010」に参加しました。これは「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」の一環で、6月21日・7月7日の午後8時～10時の2時間、商業施設や家庭などに電気を消すことを広く呼びかけたものです。



午後8時になると消灯



■バックヤードの照明

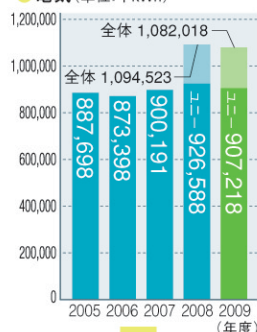
従来は「電気をこまめに切りましょう」と節電を実施してきましたが、現在は「必要な電灯だけを点けましょう」という発想で、省エネ化活動を行っています。店舗のバックヤードの作業や設置場所の状況を調べ、それぞれに「常に点灯」「必要な時だけ」の表示を付けました。従業員は自分の作業などに必要な時だけスイッチを引く「電灯は要る時点けましょう」を実践し、省エネに努めています。



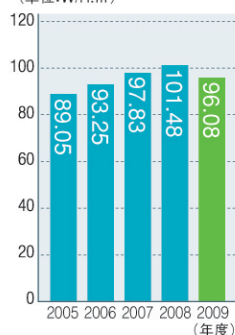
エネルギー使用量の推移

※データは、各年度とも当年2月21日～翌年2月20日までのもので、2008年度より旧ユースタとの合算数値になります。

●電気 (単位:千kWh)

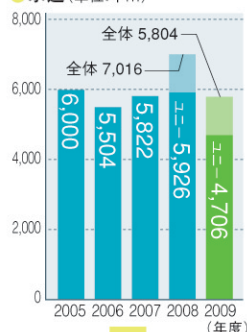


単位面積時間当たりの使用量 (単位:W/H・m²)

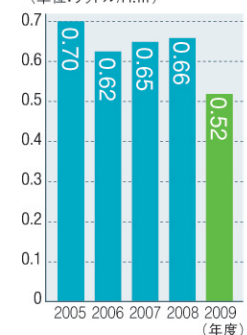


冷夏によってエネルギー使用量が減少しました。今後の新規店舗は「エコストア」として、高効率ターボ冷凍機や省エネ照明機器の導入などにより、使用量を極力制御していきます。

●水道 (単位:千㎡)

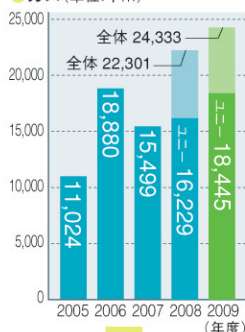


単位面積時間当たりの使用量 (単位:リットル/H・m²)



冷夏により水道使用量が減少しました。今後は雨水再利用や井戸水の使用などにより、水道水の使用制御を図ります。

●ガス (単位:千㎡)

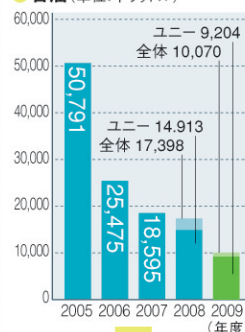


単位面積時間当たりの使用量 (単位:リットル/H・m²)

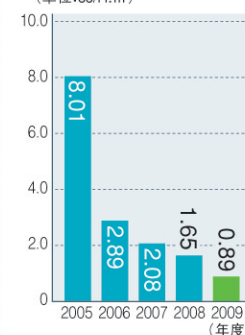


石油からガスへのエネルギー転換を図ったことによって増加しました。また新規モール店舗のコージェネレーションの導入も影響しています。

●石油 (単位:千リットル)

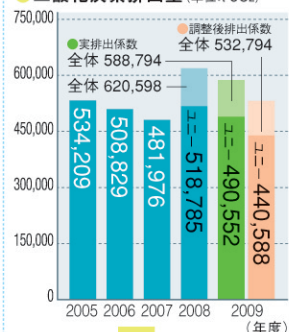


単位面積時間当たりの使用量 (単位:cc/H・m²)

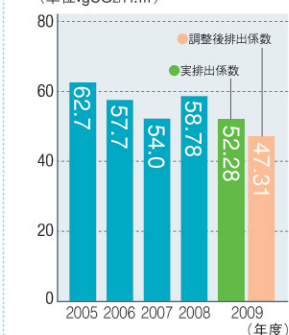


石油からガスへのエネルギー転換を図ったことによって減少しました。

●二酸化炭素排出量 (単位:t-CO₂)



単位面積時間当たりの使用量 (単位:gCO₂/H・m²)



冷夏によってエネルギー使用量が減少したこと、石油からガスへのエネルギー転換を図ったことによって、大きく減少しました。今後はさらに施設の燃料転換や省エネ機器の導入を進め、CO₂発生抑制に努めます。

※調整後排出係数＝電気事業者の調節後排出係数（京都メカニズムクレジット・国内認証排出削減量を加味している）

2009年度のCO₂換算係数は下記より換算しました。

電気：特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令（平成十八年経済産業省環境省令第三号）に基づいた『経済産業省環境省告示第三号』平成21年12月28日公表の官報より

水道：独立行政法人国立環境研究所「水道に関するCO₂排出源単位の算定根拠」（環境省推奨）

ガス・石油：『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.1.1』平成十八年経済産業省環境省に基づいた「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」